

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

コーポレートキャッチ

すべての人にインターネット。インターネットの文化・産業とお客様の笑顔・感動を創造し、社会と人々に貢献する

エンジニア・クリエイ
60.0%

グループ会社数
150社

② 中長期の経営戦略

1. グループシナジーの追求

2025年1月より純粋持株会社に近い立ち位置へ移行。GMOイズムの共有・徹底とシナジー創出で経営資源の効率的活用を実現

3. グローバル展開の推進

Z.comをグループ統一ブランドとして、インフラ・セキュリティ・金融・暗号資産事業の海外展開を加速。海外市場における事業基盤確立を目指す

2. AI活用の加速

2022年11月ChatGPT登場を機に全社的活用開始。時間コスト節約・既存サービス質向上・新サービス提供を軸に「AIで未来を創るNo.1企業グループ」を目指す

4. インターネットインフラ事業

開発体制内製化。個人・法人・地方公共団体向けのワンストップサービス提供。ストック型商材が収益基盤。セキュリティとのシナジー強化

③ 対処すべき課題

① 技術優位性の維持

- ・エンジニア・クリエイター・ディレクターを人財として採用・育成
- ・先見のかつコスト優位性あるサービス継続創出が重要経営課題
- ・技術革新の速さに対応する組織・制度作り

② 事業ポートフォリオの強化

- ・インターネット広告市場の複雑化・多面化に対応
- ・FXの取引ツール強化・コスト低減で顧客利便向上
- ・CFDを第二主力商材へ、他商品とのクロスセル推進

③ サステナビリティ経営推進

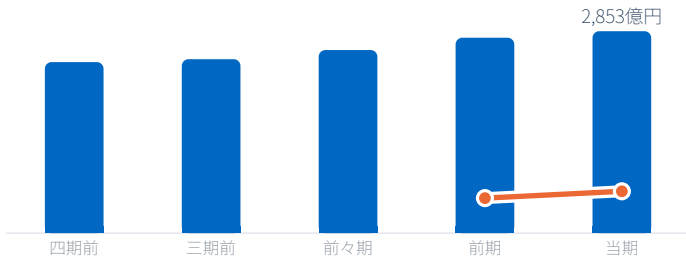
- ・インフラ事業者として事業継続自体が社会課題解決につながると認識
- ・サステナビリティ経営の高度化に継続取り組み

面接で使えるポイント

- ・150社のグループ企業を持つ総合インターネット企業で、スピード経営を実践しながらシナジー創出を目指す点
- ・2014年からAI研究を進め、ChatGPT登場後いち早く全社活用で「AIで未来を創るNo.1」を実現する姿勢
- ・Z.comをグローバルブランドとしてインフラ・セキュリティ・金融・暗号資産の海外展開を加速する成長戦略

証券コード 9449

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,853億円営業利益率
20.7%財務健康度
54点 / 100点要するに
インターネット関連の複数の事業を展開する大規模
企業グループ

主力事業・セグメント

- ・インターネットInfrastru 63.2%
- ・インターネットFinance 14.3%
- ・OnlineAdvertisin 11.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,853億円の事業規模
- ・営業利益率20.7%と高い収益性
- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 57.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
841万円

情報・通信業内 80位/592社

平均年齢
39.0歳

情報・通信業内 249位/593社

平均勤続
6.4年

情報・通信業内 296位/593社

女性管理職
18.8%

情報・通信業内 123位/373社

男性育休
60.0%

情報・通信業内 240位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

